

# 員弁川河川整備計画

## 流域の現状

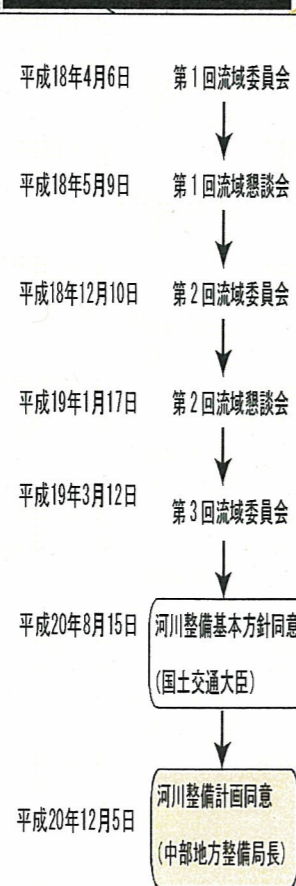


現地視察(第1回)の状況



流域委員会開催状況

## 流域委員会等開催状況



## 整備目標

- 河川整備計画の対象期間  
今後、概ね30年間とする。
- 洪水による災害の防止または軽減に関する目標  
過去の流域内の浸水被害状況や、県内他河川の治水安全度と河川特性の関係等を考慮して、昭和49年7月洪水と同程度の出水に対して被害を防ぐことを目標とする。
- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標  
今後とも関係機関との連携のもと、適切な水利用が図られるよう努めるとともに、綿密な情報提供等、水利用の効率化を促進し、さらに既得水利の取水が安定的になされ、かつ良好な水環境が維持・改善されることを目標とする。  
流水の正常な機能を維持するための必要な流量については、今後とも河川流況の把握に努め、さらに検討を行う。
- 河川環境の整備と保全に関する目標  
流域内河川の自然環境及び河川利用の実態の把握に努め、治水・利水面との調和を図り、河川の縦断方向や周辺支流との連続性の確保に努める。

## 整備内容

- 河川改修  
以下の区間の河川改修を行う。  
(員弁川)  
①町屋頭首工(3.7km地点付近)～藤川合流点付近(11.0km地点付近):掘削、護岸、引堤  
②員弁川用水第二頭首工付近(14.8km地点付近～16.0km地点付近):掘削
- 橋梁の改築の内容  
河川改修(引堤工事)に伴い、桑部橋(5.8km地点付近)の改築を実施する。
- 堰(頭首工)の改築の内容  
町屋頭首工(3.7km地点付近)および員弁川第二頭首工(14.8km地点付近)を可動堰に改築する。

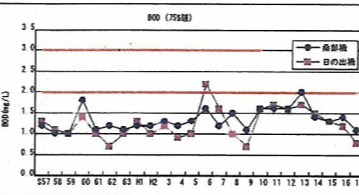
## 河川環境と河川利用の状況

### 員弁川における注目種

区分	種(群)名	ランク区分	主要な生息区間		
			感測域	下流	上流
魚類	ウツセミカジカ(カジカ小個型)	環境(VU)	○	○	
	カマキリ(アユカケ)	三重(VU)	○	○	
	カワアサギ	三重(VU)	○	○	
	アユ	-	○	○	○
	スナヤツメ	環境(VU)			○
	アカザ	環境(VU)			○
	ヤリタナゴ	三重(VU)			○
	アブラボテ	三重(VU)			○
	イトモロコ	三重(VU)			○
	カワムツ	-			○
鳥類	ミサゴ	環境(NT)	○		
	カモ類	-	○	○	
	コアジサシ	環境(VU)	○	○	○
	シロチドリ	三重(要種 EN, 越冬 NT)	○	○	
	コチドリ	三重(EN)	○	○	
	イカルチドリ	三重(要種 EN, 越冬 NT)	○	○	
	オオヨシキリ	三重(NT)	○	○	
	シオクグ群	-	○		
	ヨシシギ	-	○		
	ツルヨシギ	-		○	○
植物	カワヨモギ群	-		○	○
	カワヂシャ	環境(NT)	○	○	



- 自然環境  
感測域ではヨシ群落やシオクグ群落がみられ、広い水面や浅場が水鳥の生息場となっている。下流から中流にかけては、適度な横断による滞防の蛇行や砂礫の河原・瀬・淵、ツルヨシ等の河岸植生など、多様な環境が分布している。アユ、カマキリ(アユカケ)などの回遊魚がいるが、町屋頭首工上流側では殆ど確認されない。
- 河川利用  
地元小学校による環境学習(川の生き物調査など)、地元や近郊の人々によるアユ釣り、水遊びが盛ん。
- 水質  
現状の水質はBOD75%で環境基準(A類型2mg/l)を満足している。



【特記事項】その他、上流の注目種としてネコギギ(環境 EN、三重 CR)、イワメ(環境 LP、三重 CR)があげられる。

注) ランク区分は以下のとおり

環境:環境省レッドデータブック 三重 三重県レッドデータブック2005 LP 絶滅のおそれのある地域個体群 CR:絶滅危惧ⅠA類 EN:絶滅危惧ⅠB類 VU:絶滅危惧Ⅱ類 NT:準絶滅危惧 DD:情報不足

## 改修箇所現状



## 既往の浸水被害(昭和49年7月)



## 費用対効果分析(B/C)

費用便益費=総便益(B)/総費用(C)  
員弁川 B/C  
1238.9億円/57.1億円  
=21.7

## 整備断面イメージ

